

二日目の様子 Part 2

分科会⑦「施設内の教育」(午前)

レポートは、福岡・大阪・佐賀・兵庫からの4本です。60歳代の学齢超過者（過年度生）の事例や、大阪の施設内訪問教育の事例報告がありました。



分科会⑨「教育課程」(午後) (スクーリング・行事・教育条件等)

レポートは、京都からの3本です。京都市からは支援学校の中学部・高等部から大学に進学した生徒の事例報告でした。準ずる教育課程で、9教科に対応した指導体制を作ることの苦労や熱い思いをお話の中からひしひしと感ずることができました。



ハンドマッサージ(ボランティアさん)

長先生の感想「普段子ども達をさわっているけれど、きちんとした触り方を勉強しないといけないなあ—と思いました。」



分科会⑧「病気療養児の教育」(午前)

レポートは、愛媛大学榎木先生からの発表でした。病弱者への合理的配慮ができる教員養成について報告されました。病弱・身体虚弱の人にとってのインクルーシブ教育システムにおける合理的配慮とは何か、など最新の支援教育事情についての学びができました。



分科会⑩ 特別分科会(午後) 「保護者とともに学ぶ」

レポートは、愛媛県重症心身障害児(者)を守る会会長、岩井さんからです。最初に訪問生で亡くなられた方の黙とうから始まりました。保護者・教員・元教員等さまざまな立場の方が語り合いました。



わくわくクラブ(保育)

二日目の保育は、外出組は京都市水族館、会場組は工作・音楽タイムなどを行いました。京都水族館に行かれた先生より、「水族館は夏休みで館内、人がいっぱいですが、みんな楽しんでいます。イルカショーの向こうに新幹線が見えるのは京都ならではですかね。」

